

〔内科〕

研修の特徴と内容

【特徴】

医師がプライマリ・ケアを習得するため、内科一般の基本的な臨床研修を広く行うことにより、更に他の専門的な研修をより容易にすることを可能にする。

【内容】

① 一般目標(G I O)

医師としての人格を形成し、将来の専門性にかかわらず、医学、医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻りに遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアとしての内科の基本的な診療能力としての態度、技能、知識を身につける。

② 行動目標(S B O s)

- (1) 基本的診察法を習得する。具体的には面接技法、全身の診察（頭部、頸部、胸部、腹部、骨、関節、筋肉系、神経系）ができる
- (2) 基本的検査法を自ら実施でき、結果を解釈できる。具体的には、検尿、検便、血算、出血時間、血液型判定、交差適合試験、動脈血ガス分析、心電図などである。
- (3) 基本的検査を選択、指示し結果を解釈できる。具体的には血液生化学的検査、血液免疫学的検査、肝機能検査、腎機能検査、内分泌学的検査、細菌学的検査、髄液検査、止血機能検査、胸腹部単純 X 線検査、超音波検査、造影 X 線検査、X 線 C T 検査、MR I 検査、核医学検査などである。
- (4) 基本的手技を経験する。具体的には滅菌、消毒、簡単な局所麻酔外科手技、注射（皮内、皮下、筋肉）、点滴、静脈確保、採血法、穿刺法（腰椎、胸腹腔内、骨髄）、導尿、浣腸、気管内挿管、レスピレーター装着などである。
- (5) 基本的治療を実施する。具体的には薬剤の処方、輸液、輸血、抗生剤の使用、副腎皮質ステロイド薬の使用、抗免疫療法、抗腫瘍剤、中心静脈療法、経腸栄養法などである。
- (6) 救急処置法を経験する
- (7) 末期医療の治療管理ができる。
- (8) 医療の社会的側面に対応できる。
- (9) 各種医療関係者と協力し、情報交換できる。
- (10) 文書記録、診療計画作成と管理ができる。
- (11) 剖検やC P Cに参加する。

③ 研修内容（方略）(L S)

L S 1 : On the job training(O J T)

- ・ローテーション診療科において患者を受け持ち、上級医とともに、患者のケアにあたり、それぞれの疾患についての知識を深め、検査手技・治療法を習得する。
- ・受け持ち患者の内科学的所見の変化を把握し、電子カルテに記載する。
- ・回診に参加する。
- ・副直として、当直業務に参加する。

L S 2 : カンファレンス

- ・研修医教育に関する行事に参加する。

④ 教育に関する行事

内科全体

第2、4週 月 17:30～ 内科セミナー

症例報告（病理検討会を含む）と講師以上によるミニレビュー

⑤ 評価(EV)

1. 自己評価

- ・研修到達手帳に症例や経験した症状を記載する。
- ・ローテーション期間内（最終月の25日まで）にEPOCでの入力を行う。

2. 指導医による評価

- ・EPOCでの入力を行う。

3. 看護師による評価

- ・EPOCを用いて看護師長の評価を受ける。